

Ⅲ．事業計画

(2026-2027年度)

**持続可能な
インパクトを
生み出そう**





2026-27年度 RI会長メッセージ

CREATE LASTING IMPACT 「持続可能なインパクトを生み出そう」

2026-27年度 国際ロータリー会長
オラインカ H. ババロラ
トランス・アマディ RC (ナイジェリア)

親愛なるロータリーの友人にメッセージを送ります。それは「CREATE LASTING IMPACT」（持続可能なインパクトを生み出そう）です。

私は10代でローターアクターとして活動を始めました。恵まれた環境で育ち良い教育を受けましたが、ローターアクターとなってからは別の視点で世界を見ることができるようになりました。なかでも取り組んだ識字プロジェクトが私を変えました。そのプロジェクトは人びとの教育へのアクセスを拡大することに成功しました。そしてその時、私は持続可能なインパクトというものを知りました。

持続可能なインパクトを生み出す方法としては世界的にはポリオ根絶の約束を果たすこと、そしてロータリー平和センターの恩恵を最大限活かすことです。

一方、クラブと地区ではより多くの人を迎え入れることです。具体的には2030年度の会員増強の目標達成を意味します。ロータリーにはもっと多くの会員が必要です。30年までにロータリアンを125万人、ローターアクターを12万5千人にする会員増強目標を掲げています。

それにあわせて地区とクラブは過去5～7年を振り返ってください。会員数が最高を記録した年はいつでしたか？その年度が分かったら、その最高記録を超えていただきたいのです。

クラブのなかには若い人の意見が尊重されなかったり、背景が異なる人が歓迎されなかったりします。しかし、それでは入会の見込みのある人を入会前に失ってしまいます。

私自身、ローターアクターとしてロータリーに入会しようとして抵抗を受けました。ある日、ロータリークラブの昼食会に出かけて入会の希望を伝えたところ、そのクラブの会長は若い私を見て「何という厚かましきだ！ただ入会できるわけではないだろう。招待が必要だ」と言いました。

そこで私はあきらめずにいました。「子どもが親の家に入るのに招待が必要とは知りませんでした」と。しばしの沈黙の後である会員が「インカ、君を歓迎するよ」と言ってくれ、私はロータリアンになることができました。

自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で持続可能なインパクトを生み出すことができるのです。クラブのリーダーの皆さんはまず自分を変えることを考えてみて下さい。

(2026年国際協議会スピーチより脇ガバナーエレクト抜粋)

～略歴～

1988年に大学で工学の学位を取得。シェルPLCで要職を歴任するなど、石油・ガス業界で25年間勤務し、4大陸でプロジェクトを実施。リビエラ・テクニカル・サービス社（石油・ガスインフラ供給会社）とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の2社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する、故郷イバダン市の組織「ジェリコ・ビジネスマン・クラブ」のメンバーとなっている。

ロータリーアクターとして10年間活動し、1994年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12年度に地区ガバナー、2018-20年度にRI理事、2019-20年度に副会長を務めた。2017-23年度にEnd Polio Now：歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20年度副委員長）、2013年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会（2016年～現在アドバイザー）での役職を歴任。

妻プレバさんと共にポート・ハーコート市に在住。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックスUKの評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。



ガバナーから地区の皆様へ

国際ロータリー2710地区
2026－27年度ガバナー 脇 和也

「春風や闘志いだきて丘になつ」ー。私の好きな高浜虚子の作品です。いよいよ新年度が始まります。迎える新たなロータリー年度を闘志をもって臨みたいと思います。そこで改めてロータリー活動の主役であるクラブ会員の皆様に新年度のRI会長テーマとガバナー信条をお伝えします。

○2026－27年度 RI会長メッセージ

2025－26年度から従来のテーマからメッセージへと変更されました。そして2026－27年度のオンライン・H・ババロラRI会長（ナイジェリア）は「CREATE LASTING IMPACT」（持続可能な長期的なよい変化を生み出そう）と発表しました。これは2017年よりRIが掲げる「ビジョン声明」（私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で**持続可能な良い変化を生むために**人々が手を取り合って行動する世界を目指しています）から引用されたものです。

そのうえで会長は三つの重点目標を掲げています。

- ① エンドポリオの遂行
- ② 平和フェローの支援強化
- ③ 会員増強（2030年までに世界で125万人に）

これが私たちの1年間の活動の指針となります。

○ガバナー信条

「和と絆」 With One Heart（心一つに）

ロータリーは親睦と奉仕です。クラブで培った仲間との和、奉仕を通じて生まれた地域との絆をクラブの皆さんが心一つにさらに大きく太くしていくことでロータリーの地域社会における存在感と知名度を高めることができます。それによってますます奉仕活動が活発になり、公共イメージが定着していき会員が増えそしてクラブが活性化すれば「持続可能な長期的なよい変化を生み出す」ことができます。そうした好循環が描けるような活動の展開を目指していきます。

そのための「地区運営方針」として「行動と実践の重視」を掲げました。

そのうえで地区推進事項をEnjoy Rotary（親睦の深化）や例会の充実、戦略的オープン例会の推奨、クラブ基盤の強化（3Years Rolling Goals）の推進などとししました。

地区はクラブと共にあります。1年間よろしくお願いします。

2026－27年度ガバナー 略歴

[氏 名] 脇 和也（わき かずや）

[所 属 ク ラ ブ] 宇部ロータリークラブ

[生 年 月 日] 1952年12月 9 日

[職 業 分 類] 新聞発行

[学 歴] 明治大学政治経済学部卒

[職 歴] 1975年 4 月 (株)宇部時報社 入社
2004年 3 月 (株)宇部日報社 代表取締役専務
2009年 4 月 “ 社長
2023年 4 月 “ 取締役会長

[主 な 公 職] 宇部商工会議所常議員
宇部市市史編纂委員長
宇部ユネスコ協会顧問

[ロータリー歴] 1997年 3 月27日 宇部ロータリークラブ入会
2004－05年度 宇部ロータリークラブ幹事
2008－09年度 宇部ロータリークラブ会長
2013－14年度 グループ 2 ガバナー補佐

メジャードナー（レベル1）
ポール・ハリス・ソサエティ
第1回米山功労者



会 長 挨拶

2026－2027年度 広島東南ロータリークラブ

会長 岡本 幸士

「I serveで歩む楽しいクラブ」

本年度、私は会長テーマを「I serveで歩む楽しいクラブ」と掲げました。
しかし、その力は義務からではなく、仲間との「友情」「信頼」、心の充実から生まれるものだと思います。

集う仲間が互いを尊重し、支え合う関係があつてこそ、奉仕は本当の力となります。

楽しいクラブとは、単に賑やかなクラブではありません。

例会に来るのが楽しみになること。

仲間の挑戦を心から応援できること。

奉仕を終えたあと、「よかった」と笑顔で語り合えること。

その積み重ねこそが、私たちの言う「楽しさ」であり、クラブの魅力の源であると考えています。

先ず大切にしたいことは、今ここに集う仲間の皆さんです。

シニア会員の皆さんには、その経験と知恵でクラブの軸となっていただきたい。

中堅会員の皆さんには、運営の中心として力強く前へ進めていただきたい。

女性会員の皆さんには、多様な視点と共感力で、クラブにさらなる広がりを生み出していただきたい。

若い会員の皆さんには、遠慮なく挑戦し、新しい風を吹き込んでいただきたい。

それぞれが役割を持ち、それぞれが輝く、その姿こそが、クラブの何よりの魅力です。

そして、これから出会い、迎える新しい仲間の皆さんも、心から歓迎します。

新しい仲間を引き寄せる魅力は、特別な言葉や制度にあるものではありません。

私たち一人ひとりが、このクラブを心から楽しみ、誇りをもって語れるかどうかにあります。

「I serve」、とは誰かのために思いやりをもって行動することです。

その始まりは、まず、例会で隣にいる仲間の皆さんを大切にする心です。

日々の小さな思いやりが、「楽しいクラブ」を育み、やがて地域を照らす大きな力になります。

クラブの未来は、今日ここにいる私たち一人ひとりの姿勢と行動によってつくられます。

その責任と希望を、私たちは共に担っています。

その歩みの先に、「ここにいてよかった」と誰もが思える場所が生まれるのだと、私は信じています。

感謝の心を胸に、皆様と共に歩んでまいります。

「I serve」の心で、楽しいクラブづくりに挑戦しましょう。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

通年経常の目標（2008.7～）

CLPに掲げられているRC強化の要素を参照しつつ広島東南RCのこれまでの歴史を踏まえ、以下のことを通年経常の目標を設定する。

- 常に会員数概ね100人の確保をはかり、世代職業を越えて親密で和気藹々とした家族兄弟のようなクラブである伝統を保持する。
- 合理的例会運営、高い出席率、早い情報伝達、電子記録の整理保存など広島東南RCがこれまで充実に努めてきたクラブ運営の伝統を保持発展させる。
- 具体的な企業経営や職能活動の現場での職業奉仕のあり方を研究する「経営研究会」を充実継続する。
- 地域社会の子供（子育てを含む）、高齢者、身体障害者など社会的弱者への奉仕活動を中心に通年経常の活動を継続する。
- パールハーバー RC、台中RCとの姉妹関係を緊密に維持し、姉妹関係のもとでの共同奉仕プロジェクトを適宜実施する。
- ロータリー財団、米山記念奨学会への支援は地区内での高い水準を維持するとともに、米山奨学生の世話クラブとして大きく貢献してきた伝統を継承し、積極的に奨学生の世話を引き受け、同時に米山奨学会を支援する。
- 支店長会員を主賓として多様な目的を持って開催している『松茸を腹一杯食べる会』、『ふぐを腹一杯食べる会』等を継続する。『郷土史文化研究会』、『RI エコー』等のユニークな内容を含む同好会の活動を支援する。

2026-27年度 ロータリー賞の目標

2020-21年度より、ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指すにあたり、ロータリークラブ・セントラルから25の目標のうち少なくとも13の目標（または全目標の51%以上）を選ぶことができるようになります。このような柔軟性が適用されたことにより、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことが可能となります。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。

当クラブは下記の16の目標を選択しました。目標達成の為、ご協力の程よろしくお願いいたします。

目標	目標の詳細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
地区大会への出席	地区大会に出席する会員の数
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブが提唱する新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
RYLA参加者	本ロータリー年度にクラブが支援するRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画（長期計画）があるか
インターネット上の存在感	クラブの推進用資料、ウェブサイト、ソーシャルメディアでは、最新のロータリーのロゴが正しく使われ、「世界を変える行動人」としての会員のイメージを伝えているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、最新の活動や一般の関心を引くような情報を反映させるために、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数

2026－2027年度広島東南ロータリークラブ所属委員会

【理 事 ・ 役 員】

会 長（理事）	岡本 幸士	奉仕プロジェクト（理事）	大井 克元
直 前 会 長（理事）	久保 和浩	財団関連活動（理事）	谷井 智
会長エレクト（理事）	森原 弘昌	会 計（理事）	萩田 玲子
幹 事（理事）	渡邊 直樹	S. A. A. （理事）	高橋 心里
副会長・会員増強（理事）	古本 由美	副 幹 事	河野 洋平
副会長・クラブ管理運営（理事）	天野 國幹	副 幹 事	菅野 博文
広 報 ・ 記 録（理事）	高西 哲郎		

【所 属 委 員 会】

（*印は兼務）

委員会	委員長リーダー	副リーダー	委 員		
◎会員増強委員会	古本 由美				
会員増強・職業分類担当	國司 晃	角田由貴子	吉田 信秀	行武 治子	大段 茂樹*
ロータリー情報担当	山仲 巖	守下 康弘			
◎クラブ管理運営委員会	天野 國幹				
出席担当	佐々木 聡	旦 壮之助	岩井 正喬	田中 真也*	
プログラム担当	井原 倫子	三宅 正光	中村 伸弘	大西 修*	
親睦担当	見正 伸也	瀧川 洋一	脇舩 賢治	武士末 修	尾立 道泰
			佐々木 光*	大西 修*	沖土居 恵*
			中村 勝*	酒井 正和*	歌代 剛*
			佛圓 悦子*	園田 邦貴*	大段 茂樹*
			久保木秀一*	牧野 広志*	田中 真也*
			速水 清彦*	宍倉 大地*	辻 雪路*
◎広報・記録委員会	高西 哲郎				
クラブ会報・資料保存担当	宮内 章裕	稲益 強	神田 敏治	佛圓 悦子*	
雑誌担当	林 潤子	若宮奈美江	土肥 雪彦	安永 竜弥*	
広報担当	田尾 直也	板本 敏行	菅 富誉樹	歌代 剛*	
◎奉仕プロジェクト委員会	大井 克元				
職業奉仕・経営研究担当	沖宗 正明	平町 隆典	佐野 庸子	久保河内豊	佐々木 光*
			辻 雪路*		
社会奉仕担当	大下 達士	林 大一郎	柄 博治	神辺 眞之	酒井 正和*
青少年奉仕担当	林 亮介	宮原 大	要田 昭治	赤川 浩二	田中 康平
			中村 勝*	牧野 広志*	
国際奉仕・姉妹クラブ担当	平岡 誠治	鈴川 浩史	温泉川梅代	米川 晃	上田 康博
			速水 清彦*	宍倉 大地*	
◎財団関連活動委員会	谷井 智				
ロータリー財団担当	蔦尾健太郎	中畝 將博	伊藤 正樹	佐柳 和憲	
米山記念奨学会担当	中脇 令子	安永 竜弥*	園田 邦貴*	久保木秀一*	
◎S.A.A.	高橋 心里				
S.A.A.支援担当	吉田 範子	大本 一城	田上 克彦	富部 秀司	沖土居 恵*
◎監 査	山下 泉	衣笠 准一			
◎クラブ戦略委員会 （歴代会長・幹事）	米川 晃	要田 昭治	佐野 庸子	柄 博治	田上 克彦
	久保 和浩	菅 富誉樹	大井 克元	森原 弘昌	谷井 智
	山仲 巖	守下 康弘			
◎被爆樹木特別委員会	要田 昭治	菅 富誉樹	田上 克彦	守下 康弘	
◎合同事務局運営委員	渡邊 直樹	河野 洋平	菅野 博文		

2026—2027年度 広島東南ロータリークラブ

各部門・委員会の事業計画



会員増強委員会

委員長 古本 由美

岡本会長のテーマ「I serveで歩む楽しいクラブ」

「全会員が笑顔で楽しめるクラブ」「それぞれが役割を持ち、それぞれが輝く、その姿こそがクラブの何よりの魅力」を目指して会員増強を進めていきたいと思っています。近年当クラブの会員数は減少傾向ではありますが、私たち会員増強チームはいろいろな智慧を出し合い工夫をして頑張って参ります。会員の皆様にはお一人お一人のお力を拝借してクラブの仲間を増やしてさらに楽しんでいただきたいと存じます。

皆様のお力添えを何卒よろしくお願いいたします。



● 会員増強・職業分類担当



リーダー
國司 晃



副リーダー
角田由貴子

【リーダー】	國司 晃
【副リーダー】	角田由貴子
【委員】	吉田 信秀 行武 治子 大段 茂樹

〈方 針〉

岡本会長の方針である「I serveで歩む楽しいクラブ」を踏まえ、互いに尊重し支え合える仲間を増やす取り組みを行い、ここ数年来の目標である「会員総数100名」を目指す。

〈計 画〉

1. 入会間もない新会員に、当クラブの先輩方が培って来られた伝統や格式、それを踏まえた良さを伝える。
2. 各会員の皆様に今一度、会員増強の意識を高めていただくとともに、ご推薦いただきやすい環境を構築する。(パンフレットなど)
3. 過去の会員履歴を元に、そのご後任やご子息へ、直接クラブの理事役員が訪問し、再加入に向けたご説明を行う。
4. 上記の取り組みの上で、オープン例会を適切な時期に開催し、参加者へ当クラブの魅力を伝えていくと共に、既存会員の当クラブへの帰属意識の向上を図る。
5. SAAと連携の上、例会会場の備品の新調や修復を進め、当クラブの格式維持に努めるとともに、オープン例会やゲスト参加の方々へのPRにも繋げ、会員の増強の手段として行く。

〈予 算〉 400,000円



● ロータリー情報担当



リーダー
山仲 巖



副リーダー
守下 康弘

【リーダー】 山仲 巖
【副リーダー】 守下 康弘

〈方 針〉

1. 新会員にロータリークラブ会員の特典と責務に関する情報を提供する。
2. 本クラブの会員にロータリークラブの歴史、目的、活動に関する情報を提供し、理解を深めていただく。(主に入会5年以内の会員を対象とする)

〈計 画〉

1. 新会員の入会説明を、例会前11時30分より行う。
2. 週報などでロータリーに関する情報を提供する。
3. 入会5年までの会員を対象にロータリー活動の意義についての理解を深める機会を提供する。

〈予 算〉 400,000円

クラブ管理運営委員会



委員長 天野 國幹

クラブ管理運営委員会は、例会の出席把握とプログラム構築、そして、会員（及び家族）の親睦という、ロータリー活動の根本にかかわる業務を担当します。

岡本会長の掲げる「I serve」の精神で、真に楽しいクラブとなるよう、3名のリーダーをはじめとする委員の皆さんとともに取り組んでまいります。

会員の皆様の積極的なご参加とご協力をお願いします。



● 出席担当



リーダー
佐々木 聡



副リーダー
旦 壮之助

【リーダー】	佐々木 聡
【副リーダー】	旦 壮之助
【委員】	岩井 正喬 田中 真也

〈方 針〉

○今年度の岡本会長方針「I serveで歩む楽しいクラブ」を受けて、出席率100%の継続を通じた結束力向上の実現に向けて、広島東南ロータリークラブ全会員が楽しく積極的な参加ができることを目指します。

〈計 画〉

1. 他の委員会と連携し、出席しやすい環境を作る。
2. 例会時に出席報告を行い、例会出席への関心を図る。
3. クラブ会報に出席状況を掲載する。
4. 連続出席者を報告し、記念品の贈呈を行い、その労を称える。
5. 例会に出席できないときは他クラブでのメイクアップを奨励する。
6. 出席の細則について会員に周知する。

〈予 算〉 400,000円

● プログラム担当



リーダー
井原 倫子



副リーダー
三宅 正光

【リーダー】	井原 倫子		
【副リーダー】	三宅 正光		
【委員】	中村 伸弘	大西 修	

〈方針〉

会長方針（テーマ）である「I serveで歩む楽しいクラブ」に沿ったプログラム（卓話）を企画運営する。

〈計画〉

今年度プログラムは毎月の基本構成を以下のようにする。

第1週：委員会・会員研修卓話（仮：私とロータリー）

各委員会・同好会など毎月事前に割振りしたチームから数名指名してテーマに沿った全員参加型の楽しいリリーススピーチをする。

第2・3週：例年同様行事（新入会員卓話・職場訪問等）と合わせて新企画の全員参加型・ディスカッション形式のプログラムを企画する。

最終週：外部講師による卓話を依頼する。

上記のように、恒例企画・会員相互の研鑽に役立つ卓話に加え今年度は新しい企画を交えながら、会員同士の交流を図り、より楽しいクラブ作りを目指し、会員増強につなげる。

〈予算〉 400,000円

● 親睦担当



リーダー
見正 伸也



副リーダー
瀧川 洋一

【リーダー】	見正 伸也	
【副リーダー】	瀧川 洋一	
【委員】	脇舩 賢治	武士末 修
	尾立 道泰	佐々木 光
	大西 修	沖土井 恵
	中村 勝	酒井 正和
	歌代 剛	佛圓 悦子
	園田 邦貴	大段 茂樹
	久保木秀一	牧野 広志
	田中 真也	速水 清彦
	宍倉 大地	辻 雪路

〈方 針〉

- ・広島東南RCの伝統ある親睦行事を大切に継承しつつ、時代に即した運営（デジタル活用等）を取り入れ、委員の負担減と参加者の満足度向上を両立させる。
- ・会員のみならず、ご家族、そしてインターアクト学生との繋がりを深め、クラブ全体の一体感を醸成する。
- ・全てのメンバーが「参加してよかった」と心から思える、ワクワクする親睦の場をプロデュースする。

〈計 画〉

1. 例会受付
出席カード捺印
ビジター歓迎、紹介
2. 親睦行事
花火大会観覧（家族会：2026年7月25日@グランドプリンスホテル広島）
野球観戦（家族会：2026年9月頃）@マツダスタジアム
3 RC合同例会（夜間例会：2026年10月3日）※ホスト：広島東南RC
支店長会員を囲む会（松茸の会：2026年11月頃）@久里川
クリスマス例会（夜間例会：2026年12月21日）@ANAクラウンプラザホテル広島
支店長会員を囲む会（河豚の会：2027年2月頃）@久里川
新会員歓迎例会（夜間例会：2027年3月15日）@ANAクラウンプラザホテル広島
PHRC歓迎会（家族会：2027年3月末頃）@ANAクラウンプラザホテル広島
最終例会（夜間例会：2027年6月28日）@ANAクラウンプラザホテル広島
3. 記念品贈呈
4. 各委員会への参加
5. 同好会活動への協力
6. クラブ内慶弔への支援
7. 委員会間コラボ企画（ロータリー情報×会員増強×親睦）
（親睦会：2026年11月頃）

〈予 算〉 4,000,000円

広報・記録委員会



委員長 高西 哲郎

岡本会長方針「I serveで歩む楽しいクラブ」をテーマに、クラブの活動状況を記録しこれを内外に広報することでクラブのプレゼンス向上を目指します。今年度は特に情報の発信方法を多様的に見直し時代変化に対応していきます。各委員会の皆様の協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



● クラブ会報・資料保存担当



リーダー
宮内 章裕



副リーダー
稲益 強

【リーダー】	宮内 章裕
【副リーダー】	稲益 強
【委員】	神田 敏治 佛園 悦子

〈方 針〉

2026-2027年度RI会長メッセージ「CREATE LASTING IMPACT」及び岡本会長方針「I Serveで歩む楽しいクラブ」に基づき活動。

- クラブ会報（週報）を作成。今後の事業内容、活動を会員全員に解りやすく周知していただき、活動内容により関心を高めていただく。
- クラブ会報、関連データの適切な管理、保存を行い今後の活動に役立つ貴重な情報として次世代に残す。

〈計 画〉

- 例会、各活動において継続して写真撮影等を行い記録、保存。
- 新たに、動画撮影を実施。卓話や各事業活動
同好会活動等を撮影し、HPにアーカイブとして記録。
例会時に投影を行い、各会員及び外部の方にも東南ロータリークラブの活動について関心を深めていただく。
また、SNS投稿等に利用し新会員獲得等、利用価値を創る。
- 週報の作成に今一度注目。事務局と協力しさらに見やすく解りやすい週報を作成。

〈予 算〉 650,000円

● 雑誌担当



リーダー
林 潤子



副リーダー
若宮奈美江

【リーダー】	林 潤子
【副リーダー】	若宮奈美江
【委員】	土肥 雪彦 安永 竜弥

〈方針〉

「ロータリーの友」を会員の皆様に購読していただき、国内外のロータリー活動状況を知っていただく。活動報告や随筆を知る事によりロータリー活動の意義を考えてもらう。

広島東南ロータリークラブの活動状況をロータリーの友を通じ発信する。

〈計画〉

- ① 毎月発刊の「ロータリーの友」を例会で配布し購読を促進する。
- ② 新入会員を中心として指名した会員に、毎月発刊される「ロータリーの友」で興味を持たれた記事を抜粋してもらい、例会時に紹介及び感想を発表していただく。
- ③ 「ロータリーの友」を各種団体等へ寄贈し、ロータリークラブへの関心と理解を深めていただく。
- ④ 「ロータリーの友」電子版を周知し、購読を促進する。
URLを紹介し、ログインID、パスワードを周知する。
- ⑤ 「ロータリーの友」に東南ロータリークラブの活動内容を掲載してもらい社会貢献を発信する。
- ⑥ 会員の皆様により興味を持ってもらい、楽しみになる内容を目指す。

〈予算〉 50,000円

● 広報担当



リーダー
田尾 直也



副リーダー
板本 敏行

【リーダー】	田尾 直也	
【副リーダー】	板本 敏行	
【委員】	管 富誉樹	歌代 剛

〈方針〉

岡本会長方針の「I serveで歩む楽しいクラブ」をテーマとし、例会を楽しみに、仲間の挑戦を応援し、誰かのために思いやりをもって行動して参ります。

ロータリー活動がクラブ内外へ正しく素早く伝わるように創意工夫しながら広報活動に努める。

〈計画〉

- 東南ロータリークラブのホームページの活用・活性化と次年度以降へのホームページの在り方を検討。
地区補助金事業／パールハーバー RC合同記念植樹付近の清掃活動など取材と広報活動の記録。
- 東南ロータリークラブのSNSを復活させ、奉仕活動、各行事・委員会活動をSNSへ投稿し内外への情報発信に取り組む。
- 県・市の記者クラブや地元経済誌へのプレスリリースなど。

〈予算〉 450,000円

奉仕プロジェクト委員会



委員長 大井 克元

岡本会長年度、ロータリー活動の大きな柱となる奉仕プロジェクト委員会を担当することとなり、会長方針にある「楽しいクラブ」を奉仕活動を通して実践して参ります。

職業奉仕・経営研究、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕・姉妹クラブの各担当リーダー、所属委員の皆様の新鮮な発想で奉仕活動を充実感のあるものとしていただき、参加される会員の皆様が各種奉仕活動を通じてクラブ活動への参加を実感していただけるような事業を行って参ります。

特に本年度は年度当初にインターアクト地区大会のホストを広商インターアクトクラブが務め、当クラブが全面的に支援します。

パールハーバー RCの来広では両クラブの国際交流を通じた親睦を深めます。

各種奉仕活動に参加いただき、会員の皆様のクラブへの帰属意識と親和性を感じていただける事業を実施して参ります。



● 職業奉仕・経営研究担当



リーダー
沖宗 正明



副リーダー
平町 隆典

【リーダー】	沖宗 正明	
【副リーダー】	平町 隆典	
【委員】	佐野 庸子	久保河内豊
	佐々木 光	辻 雪路

〈方 針〉

岡本新会長のテーマ「I serveで歩む楽しいクラブ」に基づき、ロータリアンの原点である奉仕理念の一環として職業奉仕や経営研究、優良従業員表彰などを行います。

〈計 画〉

1. 経営研究会 年2回

講師を招いて経営研究会を行う。

2. 職場訪問例会・視察会 1回

会員企業またはその他の企業を訪問して経営方針や経営状況を学ぶ。

3. 優良従業員表彰 1回

企業や地域に貢献した優良従業員を表彰する。

〈予 算〉 350,000円

● 社会奉仕担当



リーダー
大下 達士



副リーダー
林 大一郎

【リーダー】	大下 達士	
【副リーダー】	林 大一郎	
【委員】	柄 博治	神辺 眞之
	酒井 正和	

〈方 針〉

RI会長メッセージである「持続可能なインパクトを生み出そう」、岡本会長のI serveで歩む楽しいクラブ」の方針のもと、意義、意味を成す社会奉仕をクラブとして行います。

〈計 画〉

- ・広島市立特別支援学校へプレイカート（手押し車椅子を後付けで電動車椅子にできる機器）を贈呈し学校施設の清掃を同学校生徒と共に行う。
- ・地区補助金事業（地区補助金294,800円 クラブ資金145,200円）。
- ・柏の実苑のクリスマス会参加の継続。
- ・頼山陽記念碑の清掃。

〈予 算〉 300,000円

● 青少年奉仕担当



リーダー
林 亮介



副リーダー
宮原 大

【リーダー】	林 亮介	
【副リーダー】	宮原 大	
【委員】	要田 昭治	赤川 浩二
	田中 康平	中村 勝
	牧野 広志	

〈方 針〉

今年度、RI会長テーマ「持続可能なインパクトを生み出そう」、岡本会長方針「I serveで歩む楽しいクラブ」に沿って、笑顔を絶やさず楽しみながら新たな挑戦を行う1年とする。

特に年度初めには広島商業高等学校主管のインターアクト地区大会の開催支援という大きな事業に向けて、青少年奉仕担当の枠を超えて当クラブの仲間と共に協力して乗り越えていく。

〈計 画〉

1. 広島商業高等学校インターアクトクラブへの活動支援

- ① 国際ロータリー第2710地区 第50回インターアクト地区大会
主催：広島商業高等学校、提唱：当クラブ (2026年7月25、26日)
- ② インターアクトクラブ例会参加 (毎月～隔月開催)
- ③ 街頭募金活動参加（パルコ前） (2026年12月)
- ④ 指導者研修会 (2027年5月頃)

2. 広島東南RC事業へ広島商業高等学校インターアクトクラブ部員参加

- ① 親睦事業 : 広島みなと夢花火大会 (2026年7月)
⇒今年はIAC地区大会により不参加
- ② 社会奉仕事業：柏の実苑クリスマス会 (2026年12月)
- ③ 親睦事業 : クリスマス例会・懇親会 (2026年12月)
- ④ 社会奉仕事業：パールハーバー記念樹周辺 清掃活動
(2027年5月頃)

3. RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加協力 (2027年3月頃)

4. 子育て支援セミナー「親子でわくわくリトミック」開催 (2027年6月頃)

〈予 算〉 1,100,000円

● 国際奉仕・姉妹クラブ担当



リーダー
平岡 誠治



副リーダー
鈴木 浩史

【リーダー】	平岡 誠治	
【副リーダー】	鈴木 浩史	
【委員】	温泉川梅代	米川 晃
	上田 康博	速水 清彦
	宍倉 大地	

〈方針〉

岡本会長の方針『I serveで歩む楽しいクラブ』に基づき国際奉仕・姉妹クラブ担当では、長い歴史の中で紡いできた姉妹クラブとの関係性をこれまで以上に強固なものとなるべく、より良い関係性の構築に向けて邁進していきたいと考えております。

また、国際文化都市である広島として、何を発信できるのかを考えたいうえで、更なる活動を展開して参ります。

〈計画〉

2025年の2月1日の創立65周年で来広いただいた、パールハーバー RCへ2025年11月に表敬訪問をさせていただいた際に、本年度（時期未定）にパールハーバー RCの皆さんが訪問予定となりました。昨年の感謝の意を表すために、当日のアトラクション・パーティを企画実施いたします。

【過去の交流履歴】

2015年 5 月 台中RC創立60周年表敬訪問
 2016年 4 月 PHRC来広
 2016年 9 月 PHRC表敬訪問
 2018年 4 月 PHRC来広
 2019年 2 月 PHRC表敬訪問
 2020年 1 月 東南RC創立60周年PHRC・台中RC来広
 2020年 5 月 台中RC創立65周年表敬訪問中止
 2021年 コロナ禍により交流中止
 2022年 4 月 仙台地区大会表敬訪問 植樹式出席
 2023年 2 月 PHRC表敬訪問
 2023年 5 月 台中RC表敬訪問
 2023年10月 仙台南RC表敬訪問 植樹式出席
 2025年 2 月 広島東南RC創立65周年記念事業
 2025年 5 月 台中RC創立70周年表敬訪問
 2025年11月 PHRC表敬訪問

〈予算〉 2,000,000円

財団関連活動委員会



委員長 谷井 智

財団関連活動委員会は、ロータリー財団及び米山記念奨学会について計画した寄付の目標を達成するよう努めます。

また、地区補助金を活用した事業を奉仕プロジェクト委員会と連携して行うとともに、グローバル補助金奨学生及び地区補助金奨学生へのフォローを行います。

会員の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



● ロータリー財団担当



リーダー
薦尾健太郎



副リーダー
中畝 将博

【リーダー】	薦尾健太郎
【副リーダー】	中畝 将博
【委員】	伊藤 正樹 佐柳 和憲

〈方 針〉

1. すでに申請・承認済である地区補助金事業（特別支援学校へのプレイカートの寄付・贈呈）について、社会奉仕担当と連携しながら、贈呈の実施・地区財団委員会への報告を行う。
2. 年次基金・恒久基金・ポリオプラスについての支援・寄付を会員の皆様にお願ひする。
3. ロータリー財団の目的・役割・活動・仕組みについて会員の理解を深める。

〈計 画〉

1. 広島市立広島特別支援学校への寄付事業が円滑に実施できるよう、社会奉仕担当と連携をとりながら、補助金の申請内容に沿った事業の実施・実施後の地区財団委員会への報告等を行う。
2. 年次基金の目標（会員1人当たり150ドル）、恒久基金の目標（クラブとして年間1,000ドル）を達成できるよう、会員への寄付の協力、ベネファクターの就任等をお願いする。
ポリオプラスの目標（会員1人当たり30ドル）を達成するため、100万ドルの食事を例会時に開催する。
3. まずは、リーダー自身が、年次基金・恒久基金・ポリオプラスといった各寄付金事業を理解し、これらで集まった寄付金がどのような形で地区補助金・グローバル補助金・その他の事業に活かされているのかを理解し、これをかみ砕いて会員に説明できるようにする。

〈予 算〉 100,000円



● 米山記念奨学会担当



リーダー
中脇 令子



副リーダー
安永 竜弥

【リーダー】	中脇 令子
【副リーダー】	安永 竜弥
【委員】	園田 邦貴 久保木秀一

〈方 針〉

会長方針「I serveで歩む楽しいクラブ」に従い、広島東南ロータリークラブで受け継がれてきた「米山記念奨学会事業」を継承していく。

特に本年は、本クラブ会員と共に過去に受け入れてきた留学生との親睦を深め、双方の文化など相互理解をより深めていくことに努め、平和に寄与していくことを方針としていく。

本クラブ会員の皆様には、昨年度に引き続き本事業活動へのご支援並びに奨学会への寄付もお願いしていく。

〈計 画〉

1. 米山記念奨学会事業への理解を促進する
(米山月間にて卓話を予定)
2. 米山記念奨学会への寄付をお願いする
・特別寄付金のお願い 寄付目標：1人16,000円以上
3. 奨学生の受け入れなど支援を行う。
4. 奨学生、学友（元奨学生）との交流を図る。

〈予 算〉 50,000円

S.A.A.



委員長 高橋 心里

S.A.A.の役割は、例会の秩序を保ち、すべての会員が気持ちよく、有意義な時間を過ごせる環境を整えることにあります。

例会は単なる集まりではなく、学びと交流の場であり、クラブの価値そのものです。会長方針のもと、より活気ある例会運営を目指し、メリハリのある進行と、参加しやすい雰囲気づくりに努めてまいります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



● S.A.A.支援担当



リーダー
吉田 範子



副リーダー
大本 一城

【リーダー】	吉田 範子	
【副リーダー】	大本 一城	
【委員】	田上 克彦	富部 秀司
	沖土居 恵	

〈方針〉

会長方針「I serveで歩む楽しいクラブ」の方針に沿い、これまで以上に会員相互の交流を図り、魅力ある例会の運営が円滑に行われるように管理して参ります。

〈計画〉

方針を念頭に、本クラブの細則（クラブ細則第3条第7節）に決められたS.A.A.の任務を行います。

1. 例会の進行に協力し、卓話の時間施行を確保する。
2. 例会場への入場や退場の許可。例会場の開門、閉門。
3. 早退、遅刻の承認や拒否。
 - ・帰るBOXの運用。
4. 例会場内でのマナーに対する指摘と秩序管理。
 - ・クールビズの会員への周知。
5. 例会場の設営、テーブルの配置、座席の指定など。
 - ・誕生日会員のテーブル配席（毎月第1週）
 - ・くじ引き席替え（月1回）
 - ・各委員会の発表の日は発表の担当委員会のみ同じテーブルとする。

6. 食事の献立、業者の選定等、食事の手配。
 - ・100万ドル（毎月第1週目）・バイキング（年間4～5回）
7. ニコニコ箱の管理と募金状況の報告。
 - ・四半期ごとに「ベストニコニコ賞」決定。
（賞状作成／受賞商品は@500円のクオカード）
8. ニコニコ箱の目標額は¥1,400,000円
9. 4つのテストの合唱。
10. 点鐘前に握手タイムを設ける。（くび引き配席の時）

〈予 算〉 10,000円

会 計



委員長 荻田 玲子

〈方 針〉

会長方針に従い、各部門の活動が、有効かつ円滑に運営されるように予算編成を行う。

〈計 画〉

1. クラブの資金活動を適切に実行する。
2. クラブの収支及び財政状況を明確にするため中間決算、見込み決算の報告書を作成する。
3. 年度内に予定外活動が発生した場合、柔軟に支出を配慮する。



被爆樹木特別委員会



委員長 要田 昭治

被爆樹木特別委員会は、岡本会長の今年度のテーマ『I serve』を順守し、ロータリー活動をより一層、楽しく意義のあるものにいたします。

我がクラブと姉妹関係を結んでいます「仙台南ロータリークラブ」が創立70周年を迎えます。2027年5月に記念行事が行われます。それに伴い、仙台市に被爆樹木苗木1本と被爆した電車の敷石又はレールを仙台市に寄贈したいと、要請があります。

被爆樹木『ムクノキ』のバイオリンの活動を行います。

長崎南RC、豊前RC、PHRC、台中RC、上毛町等々に澄み切った音色を聴いていただきます。

〈予 算〉 300,000円